

中期

平成27年度

26.11.29

高度学校教育実践専攻教員養成特別コース

試験問題表紙

解答上の注意

1. 表紙1枚，問題用紙2枚，解答用紙2枚があるかどうかを確認のこと。
2. 問題1，2に全て解答すること。
3. 全ての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
4. 解答が解答用紙の表面に書ききれない場合は裏面につづけて記入すること。
5. 試験終了後は，解答用紙のみを回収するので，解答用紙以外は持ち帰ること。

高度学校教育実践専攻教員養成特別コース試験問題

問題用紙全2枚 (その1)

問題 1

現行の学習指導要領では、思考力・判断力・表現力等の育成に向け、児童生徒の言語活動の充実を図ることがもとめられています。また、文部科学省が作成した『言語活動の充実に関する指導事例集』においては、このことに関わり以下のような記述が見られます。

このような動向をふまえ、あなたが教師になったとき、言語活動を充実するために授業の中でどのような取り組みを行いますか。校種と教科を設定した上で、取り組みの具体的な内容とそれらを指導する際の留意点について述べなさい。

第2章 言語の役割を踏まえた言語活動の充実

平成20年答申^(注)において、言語は知的活動（論理や思考）の基盤であるとともに、コミュニケーションや感性・情緒の基盤であるとされている。このため、各教科等において言語活動を充実する際には、このような言語の果たす役割を踏まえた指導を行うことが大切である。また、言語活動が単に活動することに終始することのないよう、各教科等のねらいを言語活動を通じて実現するために意図的、計画的に指導することが重要である。以下、言語の役割を踏まえた言語活動の指導の在り方と留意点について整理する。

(1) 知的活動（論理や思考）に関すること

各教科等の指導において論理や思考といった知的活動を行う際、次のような言語活動を充実する。

- 事実等を正確に理解し、他者に的確に分かりやすく伝えること
- 事実等を解釈するとともに、考えを伝え合うことで、自分の考えや集団の考えを発展させること

(略)

(2) コミュニケーションや感性・情緒に関すること

各教科等において、コミュニケーションや感性・情緒に関する指導を行う際、次のような言語活動を充実する。

- コミュニケーションは、人々の共同生活を豊かなものにするため、個々人が他者との対話を通して考えを明確にし、自己を表現し、他者を理解するなど互いの存在についての理解を深め、尊重していくようにすること
- 感性や情緒を育み、人間関係が豊かなものとなるよう、体験したことや事象との関わり、人間関係、所属する文化の中で感じたことを言葉にしたり、それらの言葉を交流したりすること

(略)

(注) 中央教育審議会答申『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について』（平成20年1月）のこと。

(文部科学省『言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【小学校版】』平成23年10月ならびに『同【中学校版】』平成23年5月より〔一部改変〕)

高度学校教育実践専攻教員養成特別コース試験問題

問題用紙全2枚 (その2)

問題 2

あなたは、小学校または中学校の一年の担任として、一学期の授業参観の後の学級全体の保護者会で、初めて保護者の方々に「お伝えしたいこと」「お願いしたいこと」を話すことになりました。このような場面で、あなたはどのような話をしますか。冒頭に、小学校・中学校の別を記したうえで、話そうと思う内容について述べなさい。(実際のセリフをそのまま書くのではなく、話そうと思う内容とその意図などをまとめなさい。)